

# 第3回 ISPS HANDA CUPアーチェリー大会開催要項

- 1 主催・主管 公益社団法人 全日本アーチェリー連盟  
 2 共 催 一般社団法人 国際スポーツ振興協会(ISPS)  
 3 後 援 岡崎市(予定) 岡崎市教育委員会(予定) (公財)岡崎市体育協会(予定)  
 4 日 程 2019年 9月14日(土)~9月15日(日)

日 程	時間(進行により変更有)	スケジュール
9月14日(土)	9:00~ 9:40	受付、用具検査
	9:05~ 9:50	練習
	10:00~10:15	開会式
	10:25~12:40	個人戦(小中学生・高校生男女)
	12:30~13:30	午後の部 受付、用具検査
	12:40~13:10	昼休み
	13:10~13:50	練習
	14:00~16:15	個人戦(成年男女・CP男女・特別招待)
	17:00~	個人戦表彰式(夕食会場で実施) ナショナルチーム選手との交流
9月15日(日)	各種別 1回目の対戦前に1回4分の練習を実施	
	8:20~15:50	前半 : ミックス戦(小中学生) ミックス戦(コンパウンド) [エキシビジョン戦(変則編成チーム)] 後半 : 団体戦(成年・高校生)
	16:20~	表彰式・閉会式

※上記日程は予定であり進行状況により時間の変更があります。

- 5 会 場 岡崎中央総合公園 多目的広場  
 〒444-0002 愛知県岡崎市高隆寺町字峠1番地 Tel 0564-25-7887  
 公共交通機関で……名鉄東岡崎駅よりバス「中央総合公園行き」乗車 約30分  
 自動車で……東名高速道路「岡崎IC」より国道1号線経由で3.5km
- 6 競技種目 個人戦: 60mラウンド(WA公認)、70mラウンド(WA公認)、CP50mラウンド(WA公認)  
 オリンピックラウンド団体戦: 男女1チーム3名により行う。  
 オリンピックラウンドミックス戦: 小中学生・1チーム男女各1名により行う。  
 コンパウンドマッチラウンドミックス戦: コンパウンド 1チーム男女各1名により行う。  
 エキシビジョン戦: 60mミックス戦(ナショナルチーム選手等により変則編成)。
- 7 競技規則 全日本アーチェリー連盟競技規則 2018~2019年による。
- 8 競技方法  
 個人戦  
 個人戦の順位は以下の通りとする。  
 ① リカーブ部門の成年・高校生は70mラウンドの得点で順位を決定する。  
 ② リカーブ部門の小中学生は60mラウンドの得点で順位を決定する。  
 ③ コンパウンド部門はコンパウンド50mラウンドの得点で順位を決定する。  
 オリンピックラウンド 団体戦  
 ① 成年・高校生・特別招待を同一区分で70mの距離で行う。  
 ② 男子・女子1チーム3名。(特別編成含む)  
 オリンピックラウンド ミックス戦  
 ① 小中学生男女にて60mの距離で行う。  
 ② 予選ラウンド(個人戦)の順位により男女を大会本部で組み合わせる。  
 コンパウンドマッチラウンド ミックス戦  
 ① 50mの距離で行う。  
 ② 予選ラウンド(個人戦)の順位により男女を大会本部で組み合わせる。  
 エキシビジョン戦(実施の時)  
 ① 小中学生男女より選抜した選手とナショナルチーム選手等を大会本部で組み合わせる。

9 参加定員

部 門	種 別		定員
リカーブ部門	成年	男子	10チーム(1チーム3名)
		女子	10チーム(1チーム3名)
	高校生	男子	10チーム(1チーム3名)
		女子	10チーム(1チーム3名)
	小中学生	男子	16名
		女子	16名
	ナショナルチーム	男子	6名
		女子	6名
コンパウンド部門	成年	男子	8名
		女子	8名
合計			180名

※ 上記の他にブータン王国・ミャンマー・モンゴル国・オーストラリアからの招待選手を予定しています。

- ① 各種別の参加申込みチーム数が定数に満たない場合、その不足数を他の種別に振り当てることもある。
- ② 団体戦のチーム編成は、3名1チームとし、団体(都道府県・実業団・大学・学校OB・クラブ・私的)チームで編成され、男女混合チームは男子チームとして認める。
- ③ 私的チーム編成は、成年の部は18歳(高校生を除く)からとし、高校生の部では高校生と中学生の編成は可能とする。なおこの場合、参加する中学生の申請記録は70mラウンドの記録で申請し、個人戦も70mラウンドでの出場とする。
- ④ 加盟団体を跨いでのチーム編成を可能とする。(例:〇〇県と△△県、〇〇県と学連など)

10 予選通過チーム数

参加全員が団体戦決勝へ進む。(ミックス戦のチーム組合せは夕食会場にて発表する。)

特別種目として、小中学生とナショナルチーム選手等とのペアをつくり、エキシビジョン戦を行う場合がある。

11 表彰 ※参加人数により変更あり

個人戦

部 門	種 別		表彰
リカーブ部門	成年	男子	1位～8位
		女子	1位～8位
	高校生	男子	1位～8位
		女子	1位～8位
	小中学生	男子	1位～4位
		女子	1位～4位
コンパウンド部門	成年	男子	1位
		女子	1位

オリンピックラウンド 団体戦

部 門	種 別		表彰
リカーブ部門	成年・高校生	男子	1位～4位
		女子	1位～4位

オリンピックラウンド ミックス戦

部 門	種 別		表彰
リカーブ部門	小中学生	男子・女子	1位～4位

コンパウンドマッチラウンド ミックス戦

部 門	種 別		表彰
コンパウンド部門	成年	男子・女子	1位

エキシビジョン戦(実施の時)

部 門	種 別		表彰
リカーブ部門	小中学生・ナショナルチーム選手等	男子・女子	1位

12 参加資格

- ① 2019年(公社)全日本アーチェリー連盟に競技者登録済みの者。
- ② アウトドアターゲット・70mラウンド CP50mラウンド ホワイトバッジ(500点)以上の所有者。  
小中学生はグリーンバッジ以上の所有者。
- ③ 第13項の選考対象期間内に開催された全ア連公認競技会の記録で、小中学生の部60mラウンド、成年の部・高校生の部70mラウンド、コンパウンドの部50mラウンドの記録にて申請を行うこと。
- ④ 出場選手申請時にチーム編成を提出すること。
- ⑤ 2019ナショナルチームの選手を優先する。
- ⑥ 特別枠(予定) ブータン王国・ミャンマー・モンゴル国・オーストラリア 海外招待選手

### 13 選考対象期間

2018年 8月 7日(火)から2019年 7月29日(月)までとする。

### 14 選考方法

- ① 成年の部・高校生の部は「個人申請書(単票)」に記入されたチーム3名選手の合計得点により上位のチーム(団体)から選考する。  
ただし、同点の場合はチーム内の最高得点記録者により決定する。これでも同じならば2番目の選手または3番目の選手で選考する。
- ② 小中学生の部は申請記録の上位者から選考する。但し、同点の場合、全日本選手権大会、地区大会、都道府県大会の順で優先順位を決定し選考する。
- ③ コンパウンド部門は申請記録の上位者から選考する。但し、同点の場合、全日本選手権大会、地区大会、都道府県大会の順で優先順位を決定し選考する。
- ④ 上記①②③の方法で決まらない場合は選考委員による抽選にて決定する。
- ⑤ エントリー状況により、参加チーム数を増やす場合がある。

### 15 参加費

- ① 成年 6,000円 ② 高校生 4,000円 ③ 小中学生 2,000円

### 16 申込方法

- ① 申込みは、「個人申請書(単票)」に必要事項を記入して所属する加盟団体へ申し込むこと。
  - ② 「個人申請書(単票)」の提出締切日は、所属する加盟団体(都道府県協会(連盟)・全日学連)が指定する期日を厳守して申し込みを行ってください。
  - ③ 「個人申請書(単票)」の提出締切日が不安な時は、所属団体担当者と連絡を取って確認をし、トラブルの発生しないよう注意してください。
  - ④ 団体チーム(3名)の成年・高校の部への参加者は、参加団体名記入欄に同一のチーム名を記載する。都道府県・大学・高校・実業団で複数のチームが参加して、同じチーム名称の場合、〇〇Aチーム・〇〇Bチームなど同一チームが判別できるように記入すること。  
団体チームの内、代表者1名が「団体記録確認書」に必要事項を記入して加盟団体へ提出する。  
小中学生の部・コンパウンドの部への申込みは、「個人申請書(単票)」の参加団体名欄への記載は不要です。
- ※ この「個人申請書(単票)」の内容が間違いないか、必ず確認して申し込むこと。

### 17 宿泊場所

宿泊施設、弁当の手配申込は出場決定連絡時に案内する。

### 18 その他

- ① 選手は指定された時間に、受付および用具検査を受け、開会式には出来る限り参加すること。
- ② 申込期日近くに開催した、公認競技会の記録を申請記録とする場合は、FAXで仮申請をおこなうことを認める。但し、同時に正式な書類を送付すること。
- ③ 選手はスターバッジおよび会員カードを必ず携帯すること。
- ④ 個人情報の取扱いについては、申請時に加盟団体は選手本人に第21項の内容を示し了解を得ること。
- ⑤ 競技中の負傷は応急処置のみとし、それ以上の責任は負わない。
- ⑥ 納付した参加費は返還しない。

### 19 選手の心構え

- ① 選手は、礼儀を尊び規律を遵守し、かつ他の参加者との友好親善に努める。
- ② アンチ・ドーピングについて  
競技者は次の役割と責任を担う。(全日本アーチェリー連盟 ドーピング防止規則 第1.3項)  
・ドーピング防止の方針および規則に精通し、これを遵守すること。  
・検体採取に応ずること。  
・ドーピング防止と関連して、自己が摂取し、使用するものに責任をもつこと。  
・医師に、禁止物質および禁止方法を使用してはならないという自己の義務を伝え、自己に施される治療が、規則に従って採択されたドーピング防止の方針、規則に違反しないことを確認する責任をもつこと。  
【ドーピング検査について】  
・本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。  
・本競技会参加者は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象になることに同意したものとみなす。  
・また、20歳未満である本競技会参加者のエントリーにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者の同意を得たものとみなす。  
・選手は、写真付き身分証明証(学生証、社員証、自動車免許証、パスポート等)を持参すること(本人確認のため義務付けられている)。  
・未成年者の参加に関して  
本大会参加にあたり、20歳未満の競技者は、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、日本アンチ

- ・ドーピング規程により、検査対象となった場合のドーピング検査実施の同意ならびにその手続きに関し、競技者本人ならびに親権者が同意書に署名し提出することが必要となる。
- 参加の確定した20歳未満の競技者は、同意書にそれぞれが署名、捺印の上、大会参加費納付書と共に加盟団体を通し全日本アーチェリー連盟に同意書を提出すること。
- ※ 尚、同意書は一度提出すると、該当選手が成人するまで有効となるが、親権者が替わった場合は再度新たな親権者が同意書を提出することになる。
- ・本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。
- ・アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ・本競技会参加者は、競技前7日間に服用した医薬品、塗布、注射等医療行為を施したり、使用したもの(処方薬、売薬を問わない)および摂取したサプリメント類の名前と数量を記入したメモを携帯することが薦められる。
- ・病気、けがなどの治療のため禁止物質や禁止方法を使っている場合、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)に対して、大会30日前までに「JADA・TUE申請書」を提出すること。
- ・競技会・競技会外検査を問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後、2時間の安静が必要となるので留意すること。
- ※TUE: 治療使用特例
- ※ 疑問点は、JADAのホームページ参照。あるいは、全日本アーチェリー連盟に問い合わせること。
- ・日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。

## 20 個人情報の取扱いについて

- ① 使用目的は次のとおり。
  - i 加盟団体への出場決定者選考結果通知。
  - ii 大会プログラム作成(大会プログラムは、大会関係者以外に一般及びマスメディアに公開する)。
  - iii マスメディア、会場内での参加選手や観客及び加盟団体への成績表の配布並びに送付(ホームページ掲載を含む)。
  - iv 大会運営に必要な場内アナウンス、掲示板等への掲示。
  - v 本連盟の公式ホームページおよびFacebookへの画像・映像の掲示。  
なお、掲載されたくない場合は、その旨を事前に本連盟に連絡すること。
- ② 上記以外に利用する場合は、本人に通知し承諾を得る。
- ③ その他個人情報の取扱い(プログラム作成時の印刷業者への委託等)については、本連盟個人情報保護規程に基づき行う。